

# トピックス

## 教育委員を任命

任期満了となる教育委員会委員に9月定例町議会において、議会の同意を得て、10月6日、小倉章一氏に任命書が交付されました。任期は、平成27年10月5日までの4年間となります。



## 交通指導隊辞令交付式が行われました

七ヶ宿町交通指導隊の任期が平成23年9月30日で満了となったことに伴い、10月3日、役場町長室において辞令交付式が行われました。メンバーは以下のとおりとなり、松川交通指導隊長をはじめとする8名が再任となりました。

〔七ヶ宿町交通指導隊に委嘱された方〕

隊長 松川 久一	隊員 高橋 進
隊員 櫻井 光雄	隊員 中村 寛道
隊員 田中 俊美	隊員 吉田 真
隊員 島崎 哲志	隊員 吉田 大進



◀委嘱状を交付される松川隊長

## 秋の交通安全運動を開催しました

9月21日から30日までの10日間、全国一斉に秋の交通安全運動が開催されました。それに伴い、七ヶ宿町では21日に開発センターを会場に出動式を行い、27日にはダム湖畔駐車場で街頭キャンペーンを行って交通安全の推進に努めました。また、出動式では白石警察署の協力で、甲冑武者による関ノ声(ときのかえ)をあげ交通安全を祈願しました。



## 大盛況！町長杯グラウンドゴルフ大会

10月2日(日)、町体育協会長杯・町G・G協会長杯を兼ねた七ヶ宿町長杯グラウンドゴルフ大会が行われました。小学生からベテランまでの幅広い世代140名が参加し、秋晴れのもと和やかな雰囲気の中で大会が行われました。

### <大会優勝者>

町長杯(個人総合) 小倉美恵子  
 個人男子1位-塩出昌昱  
 小学男子1位-橋本拓弥  
 小学女子1位-大滝ななみ  
 体育協会長杯(団体) 滑津チーム  
 G・G協会長杯(小学生団体) ファイアーマロンバナマンゴーアンドワンハンド21チーム



平成22年度

## 公立刈田総合病院の経営状況

診療機能の維持、充実に努めました

平成22年度は、22年6月に改訂しました「公立刈田総合病院改革プラン」に基づき、地域の基幹病院として院長を中心に全職員一丸となり、診療機能の維持、充実に収入の確保、経費の節減に努めてまいりました。

平成21年度と比較して、患者数は、延べ数で、入院が8千448人増加して6万2千819人に、外来が6千140人増加して12万1千322人となりました。

また、救急部門の状況は、救急外来1日平均患者数が0.1人増加して20.8人に、このうち1日平均の救急車搬送患者数は1.1人増加して3.2人となりました。収入は、入院収益が3億6千910万3千円の増収、外来収益が85万2千円の増収となり、収益総額では46億2千197万円となりました。

一方支出は1千694万4千円増加し病院事業費用総額は52億4千563万3千円となりました。結果、収支差引6億2千366万3千円の純損失となりましたが、現金支出を伴わない減価償却費を除いた現金収支では、1千28万8千799円の利益となりました。また、3月11日に発生しました東日本大震災時は、免震構造建築

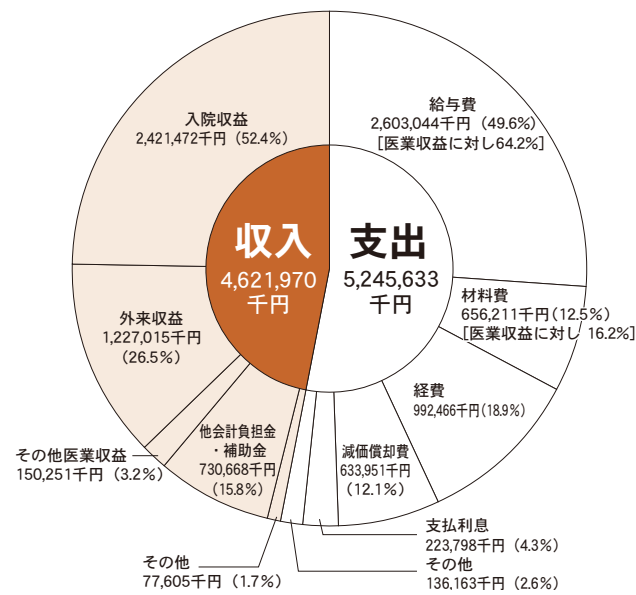
の病院であることから建物に係る被害はなく、災害拠点病院として、県内外からの入院、人工透析を必要とする患者さまや原子力発電所事故に伴う放射線量の測定等を希望される方々の受け入れに努めました。

病院経営は、依然として厳しい状況が続いておりますが、今後とも地域の基幹病院として、住民の皆さまが安心して充実した医療を受けられるよう、診療機能の充実を図り、職員の資質向上に努めるとともに、収入の確保、経費の節減に努め、経営の健全化を目指してまいります。

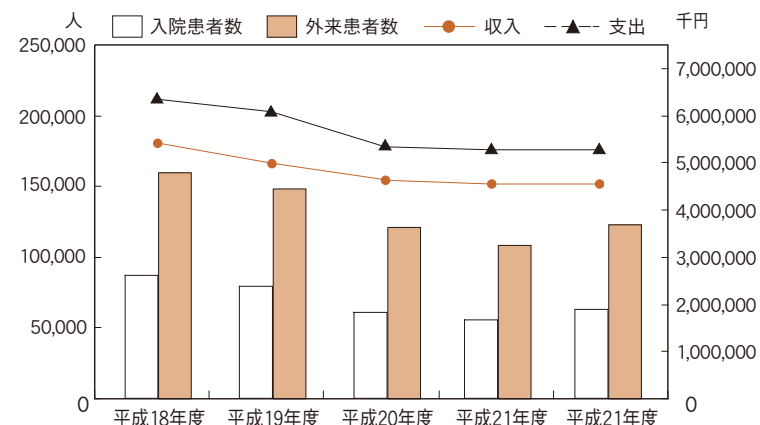
### (資金不足比率の公表について)

資金不足比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、公営企業において公表することとされており、財政指標で、これが経営健全化基準以上となった場合には、経営健全化計画の策定などの行政上の措置が講ぜられます。算定基礎数値である平成22年度の流動負債額は3億5千588万5千円、流動資産額は12億1千12万6千円で、流動資産の額が流動負債の額を上回っているため、資金不足はありませんでした。

### 平成22年度 収入・支出



### 年度別状況



### 平成22年度 診療科別患者数

